

平成20年度 関東グリーン物流パートナーシップ 普及事業推進決定一覧

番号	受付	分類 (主)	分類 (副)	事業の名称	事業の概要	事業者		省エネ量 (%)
						荷主	物流事業者	
1	関東	大		パートナーシップによって「乳製品」の「多摩・東京・神奈川」～「東京・神奈川・多摩」間輸送の「トラック」を大型化することによる省エネルギー事業	「乳製品」の輸送において、「15tトラック」から「20tトレーラ」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「鴻池運輸(株)と森永乳業(株)がお互いに意見を出し合いながら、最も効率的な輸送とCO2排出量の削減を図る改善事業を実施すること」である。	森永乳業(株)	鴻池運輸(株)	18.0
2	関東	モ (鉄)		パートナーシップによって「鋼材(構造用鋼)」の「埼玉」～「関西」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業	従来は「36tトレーラー」によって運ばれていた「鋼材(構造用鋼)」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「鋼材(構造用鋼)」の輸送において、20fコンテナのあおり開閉箇所を改造し6.0m材のコンテナ輸送を可能とする」である。	朝日工業(株)、カネヒラ鉄鋼(株)	日本貨物鉄道(株)、東武運輸(株)	66.6
3	関東	大		川崎市川崎区浮島から首都圏への輸送トラック車両大型化及び紙製品(往路)と古紙(復路)輸送のセット物流による省エネルギー事業	現状の20tトラック輸送を25tトラック輸送へ車両の大型化を行い、往路で運ぶ製品の帰り便を活用して復路で古紙を輸送して、車両大型化による配送効率向上を図ることでCO2を削減する。	大王製紙(株)	川崎紙運輸(株)	38.6
4	関東	モ (鉄)		一般小口共配低温貨物(BtoB)を対象としたモーダルシフト促進型輸送インフラ事業(東京ー福岡往復定期運行シャトル便開設)並びに関東・九州エリア内共同輸配送効率化(ハブ&スポーク機能発揮)等による省エネルギー事業	生鮮・冷凍関連中小企業間で行われるBtoB長距離小口共配物流領域に絞り、幹線物流を担う鉄道往復定期シャトル便運行を柱とした小口共配システム造りに取組む。NFL協議会会員・パートナーの冷蔵冷凍トラック事業者(荷主)、コールドセンター事業者、鉄道利用輸送事業者との三位一体コラボレーションによる事業展開の第一歩として、まずは関東・九州間シャトル便利用のハブ&スポーク型共配輸送インフラ事業に取り組む事業である。	日本フレッシュ・ロジスティクス有限責任事業組合	(株)マルハニチロ物流、日本貨物鉄道(株)、(株)丸和通運、西九大運輸倉庫(株)	69.9

平成20年度 関東グリーン物流パートナーシップ 普及事業推進決定一覧

番号	受付	分類 (主)	分類 (副)	事業の名称	事業の概要	事業者		省エネ量 (%)
						荷主	物流事業者	
5	関東	大		パートナーシップによって「石油製品」の「川崎・千葉製油所」～「関東地区サービスステーション」間輸送の「タンクローリー」を大型化することによる省エネルギー事業	「石油製品」の輸送において、「16kl、20kl、26klローリー」から「18kl、24kl、30kl」へ輸送機材の大型化をすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「新型大型タンクローリーの導入による輸送回数及びCO2の削減を石油元売と各運送会社が協力して取り組んだこと」である。	エクソンモービル(有)	東日本上野輸送(株)、(株)ニヤクコーポレーション、中央運輸(株)、三菱オートリース(株)	11.3
6	関東	モ (鉄)		パートナーシップによって「アミノ酸等」の「千鳥」～「中部地区等」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業	従来は「10tローリー・トラック」によって運ばれていた「アミノ酸等」の輸送について鉄道へモーダルシフトすることにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「製品の輸送形態を10tローリー・トラックからJRコンテナ及びタンクコンテナに切り替えることにより、製品輸送時に使用するエネルギー消費量の削減をすること」である。	昭和電工(株)	日本貨物鉄道(株)、神奈川臨海鉄道(株)、神奈川臨海通運(株)、全国通運(株)	69.3
7	関東	他		パートナーシップによって「国際海上コンテナ」の「横浜港」～「東京港」間輸送の「トレーラー」を兼用化する事による省エネルギー事業	「国際海上コンテナ」の輸送において、「20f及び40fの単体トレーラー」から「兼用トレーラー」へ輸送機材の代替化することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「往路と復路のサイズが違う場合でも車両交換の必要が無く、空輸送を回避する事で無駄な走行距離を減らし、燃料の削減が可能」である。	宇徳ロジスティクス(株)	(株)宇徳	42.2
8	関東	大		樹脂チップの三島工場～滋賀事業場間輸送を専用タンクローリー車化し、1回あたり輸送量を向上させることによる省エネルギー事業	東レ(株)と東洋運輸(株)の協同により、もっとも効率的な輸送手段の構築をして環境負荷の低減をおこなう。三島～滋賀間の樹脂チップの輸送において、従来はスチールコンテナ詰め(コンテナ自重2t、チップ7t 合計9t)で10tトラック輸送を行っていた。これをタンクローリー車(チップ18t積載)輸送に転換することにより運行回数を削減する。	東レ(株)	東洋運輸(株)	61.3

平成20年度 関東グリーン物流パートナーシップ 普及事業推進決定一覧

番号	受付	分類 (主)	分類 (副)	事業の名称	事業の概要	事業者		省エネ量 (%)
						荷主	物流事業者	
9	関東	他		自動配車システムを導入した効率的輸送ルート算出による省エネルギー事業	カルビー(株)東日本エリアの配車業務に自動配車システムを導入し、CO2排出量を14%削減する。現在別途のシステムとなっている、カルビー社の配車業務とカルビー社以外のメーカーの共同配送業務を一元化し、システムで配車することで車両、CO2削減を実現する。	カルビー(株)、(株)ギンビス、丸彦製菓(株)	スナックフード・サービス(株)	14.3
10	関東	モ (鉄)		パートナーシップによって「冷凍食品」の「川崎市川崎区東扇島」⇄「広島市市内」間輸送を鉄道へモーダルシフトすることによる省エネルギー事業	冷凍食品の川崎⇄広島間の輸送に関し、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトすることにより環境負荷の軽減を図る。	(株)マルハニチロ食品 (株)シジシージャパン 日本フレッシュ・ロジスティクス有限責任事業組合	(株)ヒューテックノオリン 日本貨物鉄道(株) トナミ運輸(株) (株)丸和通運	61.8
11	関東	他		ビール用炭酸ガスボンベの充填業者から酒類卸・酒販店への直送による省エネルギー事業	ビール用炭酸ガスボンベの容器管理にRFIDを導入し、一括読取にて記帳業務を効率化することで、アサヒビール物流拠点経由で酒類卸・酒販店へ納品していたものを、日本液炭(株)から直接納品を実施することにより輸送距離を短縮し軽減を図る。	アサヒビール(株) (株)日本液炭(株)	エキカ運輸(有) アサヒロジ(株)	71.6
12	関東	集		パートナーシップによって、「冷凍食品」の配送拠点を集約し、共同配送することによる省エネルギー事業	大阪地区にて共同保管及び共同配送を行っていた四国地区の冷凍食品配送と、事業者ごとに別々の拠点で保管及び配送を行っていた中国地区の冷凍食品配送を、広島物流センターに集約し、共同保管・共同配送をすることにより環境負荷低減を行う。	(株)ロジスティクス・プランナー 芙蓉総合リース(株) 味の素冷凍食品(株) 日本水産(株) (株)ニチレイフーズ	(株)ニチレイ・ロジスティクス中国 (株)ニチレイロジグループ本社 (株)ニチレイプロサーヴ	13.8

平成20年度 関東グリーン物流パートナーシップ 普及事業推進決定一覧

番号	受付	分類 (主)	分類 (副)	事業の名称	事業の概要	事業者		省エネ量 (%)
						荷主	物流事業者	
13	関東	集		パートナーシップによって「ドラッグストア各社向け医薬品、日用雑貨品等」の輸送拠点を集約することによる省エネルギー事業	従来グループ毎2拠点に分散している「ドラッグストア各社向け医薬品、日用雑貨品等」の輸送拠点を一カ所に集約することにより、環境負荷低減を行う。	(株)あらた	日本通運(株) 日通商事(株)	38.0

※分類種別・・・ **モ(鉄)**: 鉄道へのモーダルシフトにかかるもの、**モ(海)**: 海運へのモーダルシフトにかかるもの、**共**: 共同輸配送にかかるもの、**集**: 物流の集約(拠点の集約化等)にかかるもの、**大**: 大型化による物流効率化にかかるもの、**他**: その他